

DK-18

電気工事士技能試験 工具セット

このたびは ホーザン DK-18 電気工事士技能試験 工具セット を
お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
入組明細、および注意書きをご確認のうえ、正しくお使いください。



電工ナイフはどちらかの仕様が入り組みされています。
グリップエンドの形状などが異なりますが、同等の工具です。
試験に必要な工具は追加、変更されることがあります。
詳しくは受験要項を参照ください。

ホーザンWebページ内「電工試験の虎」では、電気工事士
技能試験関連情報、候補問題演習動画等を公開しています。

www.hozan.co.jp/denko/



ご使用上の注意

警告

1. 工具類のハンドルは絶縁ではありません。電気が流れている個所には使用しないでください。感電する恐れがあります。
2. 切断用の工具をご使用の際は保護メガネを着用してください。切断片が目に入ると大変危険です。

注意

1. サイズに適合性のある工具はサイズを確認してご使用ください。
2. 工具に割れ、欠け、摩耗、変形が認められるときは使用しないでください。
3. 工具を改造しないでください。

入組品のご使用方法

【P-958 VVFストリッパー】

芯線被覆ストリップ・ケーブル外装ストリップ・ケーブルの切断・の字曲げ加工ができます。

P-958を使えば、電工ナイフやペンチを何度も持ち変えることなく、作業を行うことができます。また、裏面には見やすいストリップスケールがついていますので、素早く正確に採寸することができます。

●スケール (10~20mm)

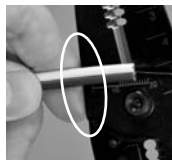
10~20mmを1mm単位で表示しています。差込コネクタ、引掛シーリング、スイッチやコンセントの結線で芯線被覆を剥く際に用います。器具の種類やメーカーによって剥き長さが異なりますので、必要な長さを測ることができます。



- 1 測りたい電線を写真のように持ち、電線を持った手の人差し指をP-958の側面に当てた状態で電線の先端をスケールに合わせます。



電線の持ち方



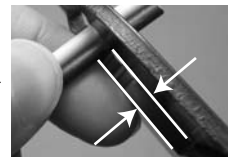
人差し指をP-958の側面に当てる

2

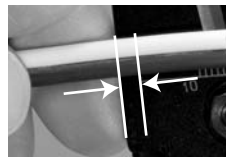
入組品のご使用方法

- 2 電線を持った手はそのままに、写真のようにP-958を先程の人差し指に当てた状態でストリップします。

工具の端とスケールの“0”の距離はストリップ時の刃と指の距離(刃の厚み)と同じになっているため、ストリップ時に刃の入る位置を注意して見る必要がなく、素早く正確に作業を行うことができます。



刃と人差し指の距離(刃の厚み)



工具の端とスケールの“0”の距離

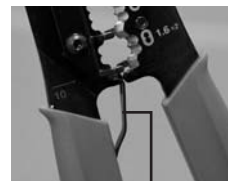
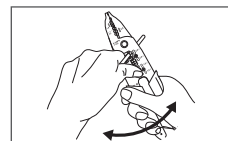
●スケール

表面: 2~12cm (1cm単位)
裏面: 10~20cm (5cm単位) で表示しています。ストリップ時の目安としてください。

●ケーブル外装ストリップ

VVF1.6mmφ×2芯と×3芯、2.0mmφ×2芯と×3芯のケーブル外装がストリップできます。

ストリップ時は、いっばいに握った後、図のように電線を中心にわずかに回転させます。被覆が緩むのを感じたらハンドルを若干緩め、電線を持った手の親指で工具を押して、そのまますぐ引き抜いてください。ストリップアシスト用パネが付いていますが、ハンドルを握り込んだままはぎ取ろうとすると、芯線被覆を傷つけてしまいますので、注意してください。



ストリップアシスト用パネ

●芯線被覆ストリップ

VVF1.6mmφ、2.0mmφ芯線被覆の3本同時ストリップができます。ケーブル外装ストリップと同様に、いっばいに握った後、少しハンドルを緩めてから、電線を持った手の親指でP-958を押して、そのまますぐ引き抜いてください。

芯線被覆ストリップでは欠陥となるような傷はまずつきませんが、刃を長持ちさせるためにも、ハンドルを緩めてから引き抜くようにしてください。

3

入組品のご使用方法

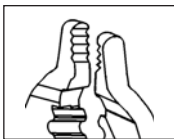
【P-958 VVFストリッパー】続き

● ケーブルの切断

VVF2.0mmφ×3芯までのケーブルが切断できます。
切断する際は、ケーブルを刃の奥に押しつけるようにしてください。
ペンチで切断するより、軽い力でよりきれいに切断できます。
VVF線以外の線（バインド線など）は刃を傷めますので絶対に切らないでください。

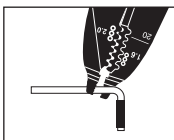
● 先端プライヤーによる銅線の「のの字曲げ」

先端のプライヤーを使用すれば、銅線の「のの字曲げ」加工をすることができます。

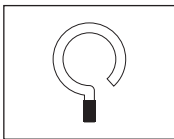
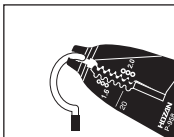


- 1 ケーブル外装をストリップします。
(ランプレセプタクルの場合…約40mm
露出型コンセントの場合 …約30mm)
- 2 芯線被覆を約20mmストリップします。

- 3 被覆の端から3mmのところを直角に曲げます。



- 4 先端部をつかみ直し、輪を作ります（図参照）。
1回でできないときは、2回にわけて行います。
きれいにできるようにするまで、繰り返し練習しましょう。



Webページ上で P-958の詳しい使い方を動画で解説しています。

www.hozan.co.jp/denko/



入組品のご使用方法

【P-737 圧着工具】

リングスリーブを用い、電線を圧着接続するために使用します。
これまでの大型タイプの圧着工具よりも軽量でコンパクト。
「大」サイズを省き「小(1.6×2)」「小」「中」サイズに特化することで、より軽い力で圧着できるようになりました（当社従来品比30%減）。
また、ハンドル開き幅が小さい為、圧着始めより片手でしっかり握れます。
「大」サイズが必要な方はP-77をお求めください。

- 1 成形確認機構を解除します
(ハンドルが自動的に開くまでハンドルを深く握り込みます)。
- 2 ストリップした電線に、電線のサイズと本数に応じた適切な呼びのリングスリーブ（下表参照）を通します。
- 3 適切なダイスを選択し（下表参照）、リングスリーブをくわえ、成形確認機構が解除になる（ハンドルが自動的に開く状態）までハンドルを握り込みます。
- 4 正しく圧着された場合、リングスリーブに圧着マークが入ります。
必ず圧着マークを確認してください。

組み合わせ表（一部抜粋）

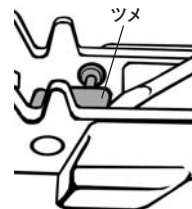
電線のサイズと本数	リングスリーブの呼び	ダイスの表示	圧着マーク
1.6mmφ 2本	小	1.6×2	○
1.6mmφ 3~4本	小	小	小
2.0mmφ 1本+1.6mmφ 1~2本	小	小	小
2.0mmφ 1本+1.6mmφ 3本	中	中	中
2.0mmφ 2本	小	小	小

P-737は第2種電気工事士技能試験に必携のJIS C 9711「屋内配線用電線接続工具」に適合しています。
試験で必要な工具は追加、変更されることがあります。
詳しくは受験要項を参照してください。

■ ハンドルが開かなくなったときは…

軽く握り込んでハンドルをたわませ、右側ハンドル根元のツメに掛かる力をゆるめませ（ツメを浮かせませ）。その状態のままツメをドライバーなどで起こすと、成形確認機構を解除できます。
ツメを起こした状態でハンドルをゆっくり開いてください。

ハンドルを握らずに、ツメに力が掛かった状態で無理にツメを起こすと工具が破損します。
失敗したリングスリーブは再使用しないでください。



入組品のご使用方法

【電気ナイフ】

VVFケーブル、VVRケーブルのケーブル外装・芯線被覆のストリップ、ゴムプッシングに切れ込みを入れる際に使用します。刃は非常に鋭利ですので、扱いは十分注意してください。錆びを防止するために、使用後は油を含ませた布で拭いてください。

【P-244 ウォーターポンプブライヤー】

P-244は狭いアウトレットボックス内でも扱いやすく、片手で作業しやすい195mmのサイズです。試験会場の狭い机の上でも邪魔になりません。アウトレットボックスに電線管（PF管・ねじなし電線管）を接続するために使用します。ウォーターポンプブライヤーでロックナットをしっかりと固定し、ボックスコネクタを手で回して締めます。PF管の場合は手で締めることもできますが、しっかりと締まらないとき、増し締めを使用してください。



【マイナスドライバー (-5.5×0.7)】

先端幅が5.5mmなので、連用取付枠の爪穴にぴったり入ります。連用取付枠へ連用器具の取付け取り外し、差込型端子からのケーブルの取り外しに使用します。



連用枠へ連用器具の取付け取り外し

【プラスドライバー No.2】

ランプセプタクルや露出型コンセント、端子台のネジを緩めたり、締めたりするために使用します。



ストリップした被覆の端を引っ掛ける

【P-43-175 ペンチ】

電線・バインド線の切断・曲げ・引っ張りなどの加工に用います。

(切断能力 銅線3.5mmφ
銅より線5.5mm²)

P-43-175は胴の裏面から刃までの厚みが約12mmですので、写真のように使用すると12mmに採寸しながら切断することができます。これを覚えておくと差込コネクタ、引掛シーリング、スイッチやコンセントの結線の際、芯線の長さを揃えるときに便利です。

入組品のご使用方法

【布尺】

ケーブルの長さを測るために使用します。両面テープなどで机に貼り付けておくと、ケーブルの採寸時に便利です。実技試験では、施工寸法が指定された値と極端に違わなければ、欠陥の対象となりません。ケーブル寸法の多少の誤差は許容範囲と考え、スピーディーに作業を行いましょ。

技術的なお問い合わせ

ホーザン テクニカルホットライン

☎06-6567-3132

E-mail : th@hozan.co.jp

【月曜日から金曜日(祝日を除く)の
10:30~12:00、13:00~17:00】

補修部品については、web上のパーツリストをご覧ください。通信販売もご利用いただけます。

[ホーザン](#) [通信販売](#) [検索](#)

ホーザン株式会社

本社 〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-12
TEL(06)6567-3111 FAX(06)6562-0024